

読者のお便りから

○同志社大学ボート部のOBですが、清水先輩の「ワイルドローバーⅣ号」がメキシコオリンピックコースの艇庫に現在保管された話は大変感動しました。海を渡ったWILD ROVER号（オリンピック出場）は同志社スポーツの輝かしいメモリアルの価値があり、ぜひ、同志社に持ち帰っていただきたいと心から思いました。

同志社大学ボート部は、1891年（明治24年）、石山（瀬田川）において第1回同志社水上大運動会を始まりとして、まもなく120周年になります。それ以前にボート競技が行われたとのことですので「同志社スポーツの源流（明治期）」の企画をしていただけたらと思います。

（名古屋 関谷晴彦）

○同志社のいろいろな広報誌（含む英語）の中では一番よいと思う。執筆者に先生が多いのでよい。国立大学の学士会報も読んでいますがやはり執筆者には大学の

先生、有名学者のエッセイが内容を豊かにします。128号では大谷総長のインタビューと中学、高校の先生方の座談会が特によかったです。どうか今後とも今の編集方針でやっていただきたいと存じます。私の研究、私の授業の頁も嬉しい読み物です。同志社の立学の精神が今的にはどのように学校の制度・システムに生きているかが報じられている記事が嬉しいです。

（さいたま市 神田惣介）

○大学を卒業して28年になりますが、毎年新鮮な思いで拝読しております。昨年始めてホームカミングデーに参加させていただきました。また、娘のオープンキャンパスへも家族そろって同行。あらためて同志社の良さを感じています。

（松本市 高木俊明）

○同志社時報の編集方針と歴史（伝統）もあつて軽々に方針の変更は困難と思いますが、時には「望星」（東海大学）の編集方針を見習って脱皮をはかることも肝要。

（龍ヶ崎市 高橋一樹）

○藤原良平氏のモンゴルでのご活躍に感激いたしました。日本の大相撲でも日本出身の力士がモンゴル出身者に負けることが多く、残念に思っていました。同志社人が地の塩となり、モンゴルで活躍していることを知り納得いたしました。

（堺市 鶴沢和長）

○11月8日のホームカミングデーでふと同志社時報を手にする。128号の特集「行ってみよう学校」「行かせよう学校」の要件に興味を持ち、一読。次に私の研究・私の授業に知識の目を開く。DOSHISHA REPORTを捲る。広範囲な同志社の諸活動を知り、納得。読者のお便りからの駒込武氏の論文・論説・随筆に多大の興味を惹かれる。

（大和市 宮本和明）